

平成22年10月21日(木)

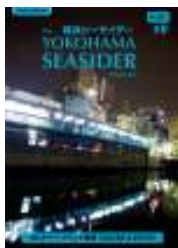
横浜観光プロモーション認定事業 平成22年度10月認定事業として、18件の事業を認定！

「横浜観光プロモーション認定事業」は、横浜の集客力を高める事業や横浜の都市としてのブランドを向上させる事業を公募し、審査会にて大きな効果が期待できると認定された事業を、横浜市、(財)横浜観光コンベンション・ビューローならびに同財団賛助会員など、オール横浜で支援をしていく制度です。9月28日(火)に行われた審査会において、平成22年度10月認定事業として、**合計18件の事業**を認定しました。

今回の審査会では、羽田空港国際化と関わりの深い、訪日外国人向けの事業を8件認定しているほか、MICEに関連する事業を、認定事業として初めて認定しています。

認定された事業のご紹介(抜粋)

Yokohama Art, Alive! 「横浜シーサイダーマガジン」



横浜で人気のフリー・マガジン「横浜シーサイダーマガジン」(日英併記)と「Koeマガジン」を通して、アートの街である横浜の「創造都市」としてのイメージをアピールします。バイリンガル情報誌という特徴を生かし、横浜市内の美術館やギャラリーの情報を英語でも提供し、外国人訪問者数の増加を目指すとともに、横浜のアート・カルチャーを活性化させ、集客増を図ります。

株式会社 Bright Wave Media

横濱山下エリアにおけるMICE誘客事業

エリア内のホテル・会議施設・観光施設・交通機関が連携し、山下地区独自の魅力を最大限に活かしたMICE受入体制を整備し、中小(100~600名)規模のMICE増加を図り、地域の活性化を目指します。PRパンフレットの作成、ウェブサイト開設、プロモーション/セールス活動、広報活動等を展開し、開港の地・開国の地「横濱山下エリア」を国内・海外にアピール。他では体験できないおもてなしを提供することにより、山下地区への誘客を図るとともに横浜全域への経済効果の波及を目指します。

横濱山下MICE推進協議会

これら2事業のほか、3部門で合計18の事業を認定しました。
総事業費は約13億4千万円となっています。詳細については別紙をご覧ください。

【裏面あり】

お問い合わせ先

財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー 事業部長 相馬 政岐 TEL:045-221-2111

*本日は19:00まで在席しております。

■平成22年度10月認定 概要

【応募件数、認定件数、総事業費、助成金の交付予定額】

	申請数	認定数	総事業費 (千円)	助成金交付予定額 (千円)
旅行商品部門	6	6	471,838	3,250
情報発信部門	10	9	847,545	1,900
オール横浜 プロモーション部門	7	3	24,500	1,500
合計	23	18	1,343,883	6,650

(参考) 平成22年度認定状況(4月認定、7月認定、10月認定の合計)

	申請数	認定数	総事業費 (千円)	助成金交付予定額 (千円)
旅行商品部門	15	14	1,226,050	9,350
情報発信部門	28	23	983,059	6,400
オール横浜 プロモーション部門	16	11	868,117	9,000
合計	59	48	3,077,226	24,750

*関連情報

本日(10/21)、7月に認定事業として認定された、ソネット・メディア・ネットワークス株式会社の「訪日外国人向け 街ログ『横浜満喫ガイド』動画特集」に関する記者発表をしております。
本内容と合わせてご確認ください。